



青森県漁業士会会報

29.3 vol.24

浜風

HAMAKAZE

発行：青森県漁業士会

青森県水産振興課内

017-734-9592

編集：「浜風」編集委員会



平成28年度青森県漁業士会総会開催

平成28年5月27日（金）、青森市で青森県漁業士会通常総会が開催されました。今年度は役員改選が行われ、下記のとおり新役員が選任されました。

- 会長 田中 張寛（蓬田村漁協）
- 副会長 大川 昭一（新深浦町漁協）
- 理事 坂崎 祐也（風合瀬漁協）
- 八戸 翼（平内町漁協）
- 川端 昭也（尻労漁協）
- 坂下 利助（階上漁協）
- 監事 坂岡 正彦（三沢市漁協）
- 山縣 勝彦（野辺地町漁協）
- 秋田 正明（横浜町漁協）
- 奈良 恒人（鱒ヶ沢漁協）
- 上小倉 良次（川内町漁協）
- 深川 修一（八戸市南浜漁協）
- 江戸 英子（平内町漁協）
- 長内 詩子（鱒ヶ沢漁協）



総会後の研修会では、弘前大学加藤特任教授から「サケ鼻軟骨の有効活用」と題して今話題のプロテオグリカンについて講演がありました。

また、総会に先立って、浜の人財ステップアップセミナーの第一部として、「新ご当地グルメを活用した地域活性について」と題して、深浦町の鈴木マグローさんの「深浦マグロステーキ丼」開発物語の講演もありました。



新役員の紹介

理事 坂崎 祐也（風合瀬漁協）
理事 奈良 恒人（鱒ヶ沢漁協）
理事 八戸 翼（平内町漁協）

新役員を代表して

○東青漁業士会 平内町漁協清水川支所 八戸 翼



県漁業士会の役員になりました八戸翼です。何をしても何ができるのかわかりませんが、先輩役員から様々なことを学び、自分の役割を探したいと思います。よろしくお願いします。



新会員の紹介

平成28年度は、5名の青年漁業士が指導漁業士に移行し、新たに6名の青年漁業士が認定されました。認定式は、平成29年1月18日に第58回青森県漁村青壮年女性団体活動実績発表大会の場で行われました。



○東青支部会



平内町漁協
船橋 慎吾
(ホタテガイ養殖)

この度、青年漁業士の認定を受けました船橋慎吾です。ホタテガイ養殖業に従事してまだ日が浅く、未熟な私ですが、漁業士会活動に積極的に参加し、学習会等を通じて水産業や漁業の発展など様々な知識を学んでいきたいと思っています。それにより、自然環境が変化していく中で生き物を育てるという困難に適応策を講じながら、自らもスキルアップして養殖業に取り組んで行きたいと思っています。



外ヶ浜漁協
木浪 幸寿
(ホタテガイ養殖)

この度、青年漁業士の認定を受けました外ヶ浜漁協の木浪幸寿です。

ホタテガイ養殖漁業、小型定置網漁業を主に営んでおります。漁業士会を通して知識を学ぶとともに、地元の漁業の発展に努めていきたいと思っています。



外ヶ浜漁協
木浪 佑悦
(ホタテガイ養殖)

この度、青年漁業士の認定を受けました外ヶ浜漁協の木浪佑悦です。

ホタテガイ養殖漁業、を主に営んでおります。漁業士会を通して知識と技術を学び地元漁業の発展に貢献したいと思っています。



外ヶ浜漁協
木浪 恭平
(ホタテガイ養殖)

この度、青年漁業士の認定を受けました外ヶ浜漁協の木浪恭平です。

ホタテガイ養殖漁業、小型定置網漁業を主に営んでおります。漁業士会を通して他地域の漁業士と交流を深め情報交換し連携を深めていきたいと思っています。

青年漁業士

○三八漁業士会



市川漁協
木田 茂則
(小型定置漁業・ほっ
きがい雑桁網)

この度、青年漁業士の認定を受けました木田です。
漁業士会の活動を通じ、知識と技術の向上はもちろん、地域漁業の活性化、発展のため地域の漁業者と協力し、努力していきますので、ご指導よろしくお願ひします。



小川原湖漁協
濱田 正幸
(シジミ漁・船曳網漁)

この度、指導漁業士の認定を受けました濱田です。私は小川原湖でシジミ漁のほか、船曳網ではシラウオやワカサギを漁獲しています。近年の環境の変化にも対応できるよう、基礎調査に基づいた新たな資源管理や漁獲制限等に取り組む必要があると考えています。
引き続き、小川原湖の漁業振興を目指し、次の世代の模範となれるよう努力していきますので、ご指導、ご協力をお願いします。

○日本海支部会



鱒ヶ沢漁協
奈良 恒人
(底建網)

この度、指導漁業士の認定を受けました鱒ヶ沢漁協の奈良です。
底建網漁業を主体に、秋から春のヤリイカと初冬のハタハタ、夏のヒラメ漁を営んでいます。
これまで、青年漁業士として日本海支部の役員を務め活動してきましたが、今後は指導漁業士として地元の漁業者と連携しながら漁業発展のために頑張っていきたいと思っています。



新深浦町漁協
田附 直人
(底建網、マグロー
本釣)

この度、指導漁業士の認定を受けました新深浦町漁協の田附です。
底建網とマグロー本釣を主体に漁を行っていますが、特にマグロでは鮮度保持技術の重要性を感じています。
これまで、日本海支部の会員として漁業士会活動に参加してきましたが、今後も漁村地域発展のため、地域の漁業者と連携し漁業後継者の育成と指導に頑張っていきたいと思っています。

指導漁業士

青年漁業士

○むっ支部会



蛇浦漁協
木下 清
(刺網、延縄)

この度、青年漁業士の認定を受けました蛇浦漁協の木下です。

私は刺網漁業や採介藻漁業などに従事しており、冬から春の時期は主にアンコウを漁獲しています。引き続き風間浦鮫鱈のブランド化を進めていく上でも、資源管理の取組が非常に重要だと考えています。

これから漁業士として、積極的に活動に参加し、地元地域の漁業活性化のために知識や技術を学んでいきたいと思っておりますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



横浜町漁協
中山 智昭
(刺網、籠、なまこ
桁網)

この度、指導漁業士の認定を受けました横浜町漁協の中山です。

私は刺網漁業の他、なまこ桁網漁業、籠漁業、採介藻漁業などに従事しており、日々試行錯誤しながら操業しています。

今後は、これまで青年漁業士として培った経験を活かし、後継者の育成や地域漁業の振興に貢献していきたいと思っておりますので、関係者の皆様のご指導とご協力をお願いします。

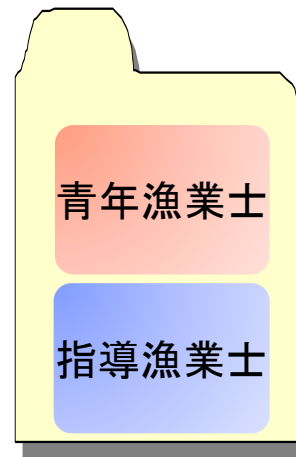


大畑町漁協
杉本 洋一
(底建網)

この度、指導漁業士の認定を受けました大畑町漁協の杉本です。

私は主に底建網漁業に従事しております。今後、漁獲量が減少した場合であっても、安定した漁業経営を行うっていくためには、複合的な漁業経営を行う必要があると感じています。

指導漁業士に認定されたことを機に、今後も地域内外の漁業者のため、一生懸命事業に取り組む、漁業に邁進していきたいと考えておりますので、関係者の皆様のご指導とご協力をお願いします。





平成28年度東北・北海道ブロック漁業士研修会

東青漁業士会 蓬田村漁協 田中 張寛

平成28年10月24日～25日、東北・北海道ブロック漁業士研修会が秋田県男鹿市で開催されました。青森県からは東青漁業士会より山縣副会長、前会長の神山さん、二木所長と私を含め計4名で参加しました。

1日目はイワガキの漁場再生への取組と、漁業就業体験について講演がありました。その後、各道県の活動報告と意見交換が行われ、大変盛況に終了しました。

2日目は北浦漁港を見学しましたが、市場が休みのため水揚げがありませんでした。間山神社にて海上安全、大漁満足を祈祷し、地元女性部の有志による昼食を御馳走になり解散となりました。

次回開催県は山形県です。多数の参加をお願いします。



漁港見学



講演



間山神社にて





平成28年度日本海ブロック研修会

日本海支部会 新深浦町漁協 大川昭一

平成28年8月22日～23日、日本海ブロック漁業士研修会が新潟市の新潟県水産会館で開催されました。

話題提供では、上越漁協筒石支所研究会の久保田氏から「小型底びき網の漁具改良の取組」と題して、クモヒトデ等を除去排出する二段式分離網への取組みについての発表がありました。本県ではなじみの少ない小型底びき網ですが、改良網への取組みが小型魚の保護にもなっており、資源管理型漁業の推進ということでは他の漁業でも必要な取組だと思われました。

その後、各府県の活動報告・意見交換で漁業士会の取組みや優良事例の紹介があり担い手確保・育成対策や販売力強化対策、魚食普及活動などについて活発な意見交換が行われました。これからは、ただ魚を獲るだけでなく、高鮮度な魚の販売や魚食普及にも取り組んでいく必要があると思われました。



平成28年度東日本女性漁業士交流会

東青漁業士会 青森市漁協 中村由美子

平成28年8月25～26日、東日本女性漁業士交流会が八戸シーガルビューホテルで開催されました。青森県が幹事県ということもあり、9名の女性漁業士と田中県漁業士会長が出席されました。

1日目、講演では有限会社静岡屋専務取締役だしソムリエの金山和歌子様が「水産物の活用だしを活かす」をテーマに講演し、いろいろなだしがあることを知りました。意見交換、全体討議は「地球温暖化及び震災後の海洋環境の変化について」「後継者と嫁姑問題」のテーマで参加者から色々な意見が出ました。グループ討論では、5、6人の班にわかれ、私の班では「漁業のあり方について」をテーマに話し合いました。人手不足で人夫を頼めなくなった、震災後週休制になりサラリーマン化している、でも元気なら80、90歳でも海に出たいと話していました。

2日目はマルヨ水産株式会社ちくわ工場を視察しました。次は茨城県での開催予定です。また皆に会えるのを楽しみにしています。



田中会長挨拶



講演司会 大宮指導漁業士



講演



だし製品



意見交換会



マルヨ見学



支部会トピックス

○東青漁業士会

後潟漁協

工藤二郎

平成28年9月19日青森市スポーツ公園わくわく広場にて開催されたあおもりマルシェに東青漁業士会として参加しました。

この活動は近年恒例となっており、消費者の方々と触れ合える貴重な機会です。当日は晴天に恵まれたため客足も多く、ほたての串焼きやバター焼きの他、イカ焼き等もめでたく完売！！お客様からの「美味しい」といった声に日頃の労をねぎらう様な嬉しさを感じることができました。関係者の皆さんの材料の提供もあり、東青漁業士会と陸奥湾産ホタテの良いPRになったと思います。ご協力頂いた皆様には感謝申し上げます。今後もこのようなPR活動を継続していきたいと思っています。



○三八漁業士会

(三八支部トピックス)
「岩手県漁業士会久慈支部との交流会」

平成29年2月15日、16日の2日間、岩手県久慈市において、三八漁業士会と岩手県漁業士会久慈支部会との交流会が行われました。

この交流会は平成8年から隔年開催で取組んでおり、広域的な漁業振興のための情報交換や交流を深めようと開催し、今回で11回目となりました。

1日目の交流会では、野田村漁協等で構成する「荒海団」の活動についての紹介や昨年の漁獲状況等について意見交換が行われました。

翌日は平成28年10月の台風10号による被害を受けた久慈川漁協大川目第2心化場と久慈地下水族科学館もぐらんぴあの見学をしました。



交流会

施設見学



深川三八漁業士会長に感謝状が贈呈されました

平成28年11月16日のデーリー東北新聞に、15年間灯台の監視に協力したとして深川三八漁業士会長に感謝状が贈呈されたとの記事が掲載されました。

15年間灯台見守る

南浜漁協に八戸海保感謝状

八戸

長年、灯台の監視に協力した八戸海上保安部（五反田和久部長）は、八戸市の南浜漁協（深川修一組合長）に感謝状を贈り、功績をたたえた。

同漁協は、2001年に八戸海保から天久喜港北防波堤灯台の監視依頼を受けて以来、組合としていたため、点灯の確認は特別なことではなく日課みたいなもの。毎日、朝と晩に確認していた」と振り返った。深川組合長は「漁業関係者にとって、灯台は安全航行には欠かせない大切な存在。表彰を機に組合員の安全意識も高まれば」と話した。

感謝状と記念の盾を掲げる南浜漁協の深川修一組合長（右）と高橋武勇さん



感謝状と記念の盾を掲げる南浜漁協の深川修一組合長（右）と高橋武勇さん

（瀬戸麻理乃）

○日本海支部会

日本海支部会料理教室

漁業士会日本海支部会では、平成28年6月1日に鱒ヶ沢町舞戸公民館において料理教室を開催しました。当支部会の長内指導漁業士が講師となり、鱒ヶ沢町内の女性約15名に地元産ヒラメの5枚おろしの捌き方を指導しながら、ヒラメツケ丼などを作りました。参加した方々の中には5枚下ろしに慣れていない人も多く、悪戦苦闘していましたが、来年の開催も望まれたり、ツケ丼に使ったタレの詳しいレシピを聞かれるなど大変好評でした。

ヒラメツケ丼は鱒ヶ沢町が売出し中の丼ぶりです。西海岸にお越しの際はぜひご賞味ください。



今年度新たに1名の会員を迎え、総勢71名となりました。毎年の主な活動は、子供たちを対象とした水産教室、年2回開催する研修会、各漁協での海浜清掃などです。

むつ支部会の独自の活動としては、『3の市』と『生産者による豊漁・豊作祈願祭』があります。『3の市』は、4月から12月の3の付く日に、むつ来さまい館こみせ広場で開催しており、今年で26年目を迎え、地域の皆さまにも愛されております。これからも工夫を凝らしながら、鮮度の良い下北産水産物をPRし、消費者の皆様にも魚を食べてもらうよう頑張っていきたいと思っております。

また、毎年秋に開催している『生産者による豊漁・豊作祈願祭』は、今年で23年目を迎え、下北地域の豊漁と豊作を祈願するとともに、地産地消の拡大や消費者と生産者の交流を図ることを目的として続けてきました。

これからも積極的に支部会の活動を続けていきたいと思っておりますので、皆様の御協力よろしく申し上げます。



3の市



豊漁・豊作祈願祭

第58回青森県漁村青壮年女性団体活動実績発表大会

平成29年1月18日、青森市の県民福祉プラザにおいて「第58回青森県漁村青壮年女性団体活動実績発表大会」が開催されました。4人の発表者がそれぞれのテーマに沿って、その活動の実績を発表しました。

漁業技術部門の優秀賞には「高鮮度でおいしい魚を日本の食卓へ」－活〆神経抜きで軌道に乗り始めた新たな漁協、漁業者の取り組み－と題して、佐井村漁業協同組合 佐井村漁協研究会 牛滝支部 坂井 聖(たから)さんが選ばれました。

坂井さんは、平成30年3月に開催予定の「第23回全国青年・女性漁業者交流大会」で、本県代表として発表することになりました。

また、生活改善部門では、「浜と消費者を繋いだ女性部活動」を発表した荒谷恵子さんが優秀賞を受賞し、平成29年3月1～2日に開催された全国大会で発表しました。



※「第59回青森県漁村青壮年女性団体活動実績発表大会」の開催日は、平成30年1月24日(水)の予定です。

第22回全国青年・女性漁業者交流大会

平成29年3月1～2日、東京都千代田区のグランドアーク半蔵門で開催された「第22回全国青年・女性漁業者交流大会」において、「第57回青森県漁村青壮年女性団体活動実績発表大会」で「半世紀にわたる漁場造成の歩み～これからも尻屋の海とともに～」で優秀賞を受賞した、尻屋業協同組合 尻屋漁業研究会 南谷彰人さんが発表し、JF全国女性連・JF全国漁青連会長賞及び全国水産試験場長会長賞を受賞しました。



水産振興課から

- 「浜の未来を担う人財ステップアップ事業」
(浜の人財ステップアップ事業)
- 「旬が美味しい青森のおさかな消費拡大事業」
(旬のおさかな事業)

農林水産部水産局水産振興課
企画・普及グループ

県では、「浜の人財ステップアップ事業」によって、「漁業士」と「浜のマネージャー」という浜の人財が連携して、地域を元気にする取組を応援しています。

今年度は、ワークショップによる課題選定からは、脇野沢漁協の清藤裕造青年漁業士が中心となって、焼き干しを活かした旅行商品の開発に向けた実践活動を行いました。

また、「旬のおさかな事業」では、県産の魚の消費拡大に取り組んでいます。

三沢市漁協、蓬田村漁協、佐井村漁協では、二つの事業を活用して、消費者への魚料理教室に取り組みました。

平成29年3月22日に行った「浜の人財ステップアップ報告会」では、トップランナーである「中泊活ハマクラブ」を始めとした、各地の地域を元気にする取組の報告があり、活動した浜の人財には吉田水産局長から、「上級浜のマネージャー」として、賞状が授与されました。

平成29年度も引き続き、浜の人財のステップアップのための取組を支援しますので、まずは、県漁業士会総会の研修会を兼ねて開催する第1回ステップアップセミナーに是非ご参加ください。

浜風編集委員

工藤 二郎（後潟漁協）
関野 稔（八戸鮫浦漁協）
白濱 信生（岩屋漁協）
坂崎 祐也（風合瀬漁協）

漁業後継者育成研修

賓^{ひん}陽^{よう}塾^{じゅく}

平成29年度受講生募集のお知らせ

【研修内容】

1 漁業基礎研修（6月～7月：水産総合研究所）

- ・水産知識 漁業関係法令・制度、栽培漁業・資源管理簿記漁業経営、ホタテガイ養殖、漁獲物の鮮度保持
- ・漁業技術 ロープワーク(各種ロープさつま加工) 沿岸漁業実習(かご、さし網、釣り) ホタテガイ養殖(試験船なつどまり)
- ・視察研修 県内の水産関連施設



2 資格取得講習（8月～11月：各講習開催場所）

一級・二級小型船舶操縦士(※)、第三級海上特殊無線技士、潜水士

※一級・二級小型船舶操縦士資格取得講習を受講するには、漁業基礎研修を受講することが条件となります。

【募集要項】

募集人員：10名程度

通学方法：各自交通手段による通学制（水産総合研究所で行う研修を受講する場合は、同所内宿泊施設の利用も可能）

受講料：無料（資格取得のための経費は各受講者が負担）

応募資格：県内の漁業後継者または県内の漁業へ就業を希望する者（性別・年齢不問）

受付期間：平成29年2月1日～同年3月31日

随時受付

出前講座

対象：県内の漁協青年部や漁業研究会等の団体 開催人数：10名程度 開催場所：現地

内容：各種ロープワーク(さつま加工等)、水産知識(座学) 開催期間：8月～3月

《お問い合わせ》

青森県農林水産部水産局水産振興課企画・普及グループ
地方独立行政法人青森県産業技術センター水産総合研究所
東青地域県民局地域農林水産部青森地方水産業改良普及所
三八地域県民局地域農林水産部八戸水産事務所
西北地域県民局地域農林水産部鯨ヶ沢水産事務所
下北地域県民局地域農林水産部むつ水産事務所

電話：017-734-9592
電話：017-755-2155
電話：017-765-2520
電話：0178-21-1185
電話：0173-72-4300
電話：0175-22-8581